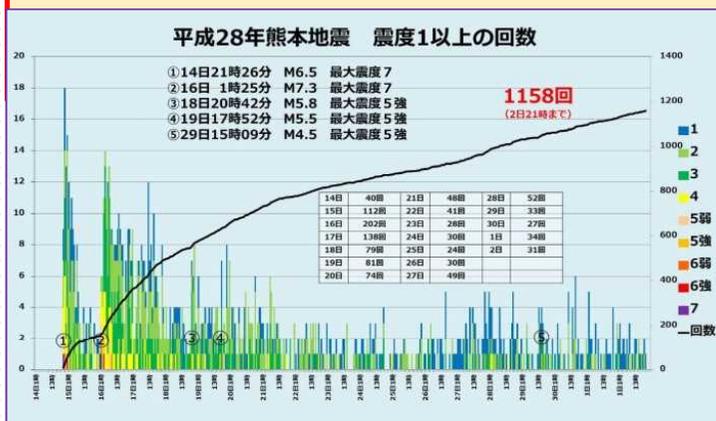
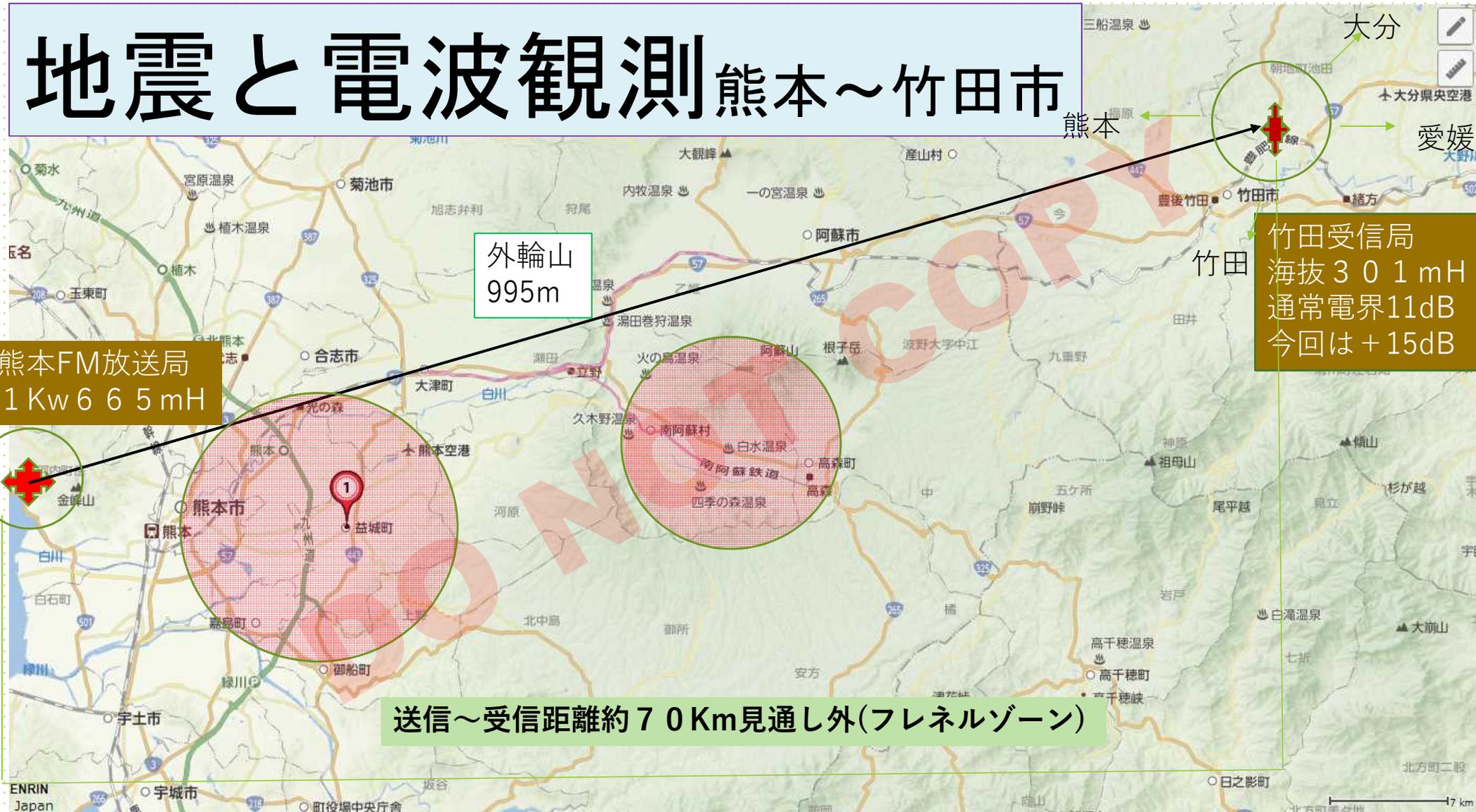


熊本-大分 連続大地震(2016-4/14~16~)

約200人 避難者18万人長期



地震と電波観測熊本～竹田市



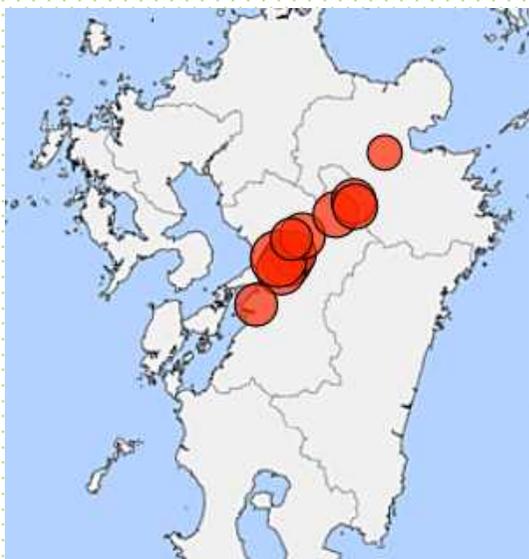
熊本FM放送局
1 Kw 6 6 5 mH

外輪山
995m

竹田受信局
海拔 3 0 1 mH
通常電界 11dB
今回は +15dB

送信～受信距離約 7 0 Km 見通し外(フレネルゾーン)

4月中に10回の大揺れ 5強以上の地震が続いた



熊本では(4/19)
までに
震度7が2回

6強が 2回

6弱が 3回

5強が 3回

合計10回

	地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	M	最大震度
1	2016/06/16 14:21:28.2	内浦湾	41°56.9'N	140°59.2'E	11km	M5.3	6弱
2	2016/04/29 15:09:34.3	大分県中部	33°15.4'N	131°22.0'E	7km	M4.5	5強
3	2016/04/19 17:52:13.6	熊本県熊本地方	32°32.1'N	130°38.1'E	10km	M5.5	5強
4	2016/04/18 20:41:57.9	熊本県阿蘇地方	33°00.1'N	131°11.9'E	9km	M5.8	5強
5	2016/04/16 09:48:32.6	熊本県熊本地方	32°50.8'N	130°50.1'E	16km	M5.4	6弱
6	2016/04/16 03:55:53.0	熊本県阿蘇地方	33°01.5'N	131°11.4'E	11km	M5.8	6強
7	2016/04/16 03:03:10.7	熊本県阿蘇地方	32°57.8'N	131°05.2'E	7km	M5.9	5強
8	2016/04/16 01:45:55.4	熊本県熊本地方	32°51.7'N	130°53.9'E	11km	M5.9	6弱
9	2016/04/16 01:25:05.4	熊本県熊本地方	32°45.2'N	130°45.7'E	12km	M7.3	7
10	2016/04/15 00:03:46.4	熊本県熊本地方	32°42.0'N	130°46.6'E	7km	M6.4	6強
11	2016/04/14 22:07:35.2	熊本県熊本地方	32°46.5'N	130°50.9'E	8km	M5.8	6弱
12	2016/04/14 21:26:34.4	熊本県熊本地方	32°44.5'N	130°48.5'E	11km	M6.5	7

観測網さえあれば「余震」まで確実に予測できる。

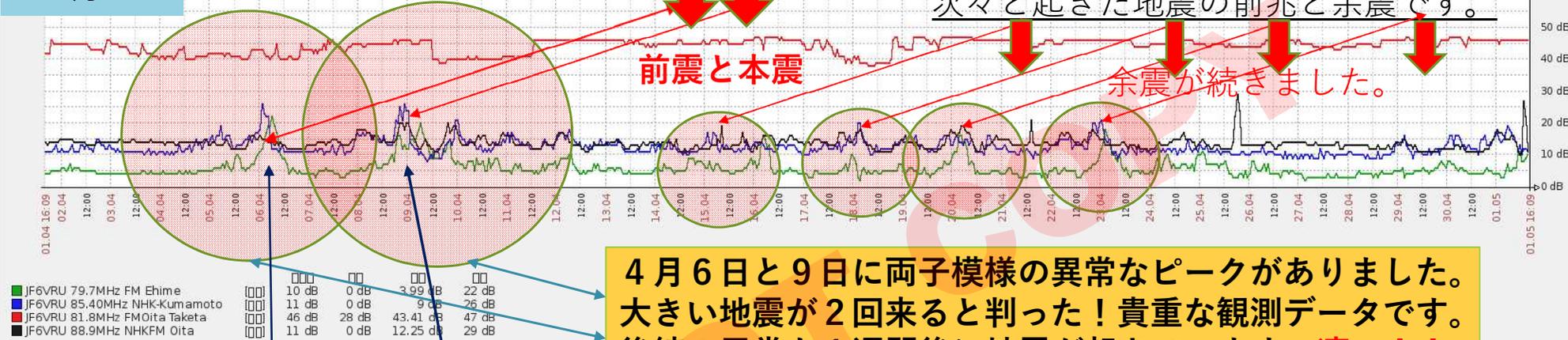
1ヶ月グラフ

Jyaverver VRU Taketa City (1m)

次々と起きた地震の前兆と余震です。

前震と本震

余震が続きました。

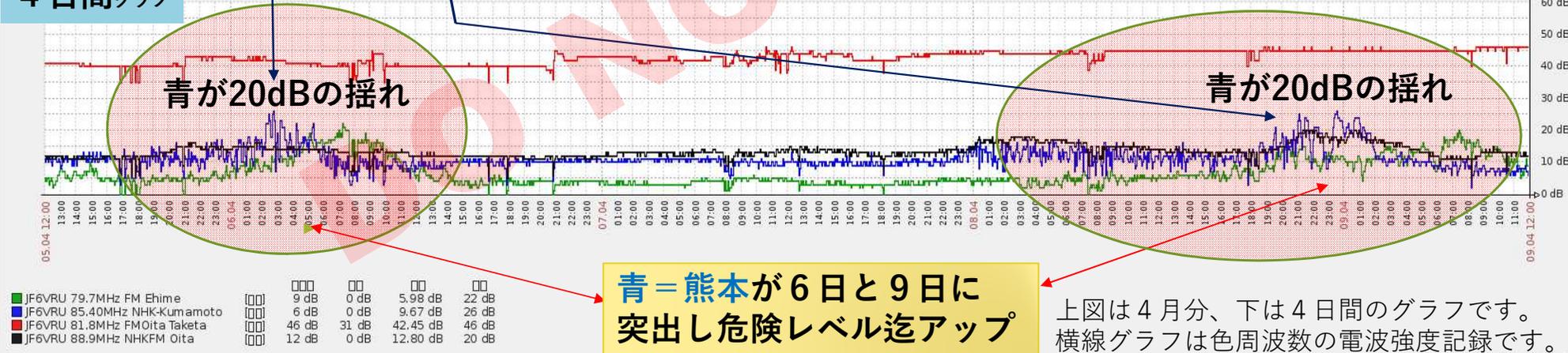


4月6日と9日に両子模様の異常なピークがありました。大きい地震が2回来ると判った！貴重な観測データです。後続の異常も1週間後に地震が起きています。凄いい！！

4日間グラフ

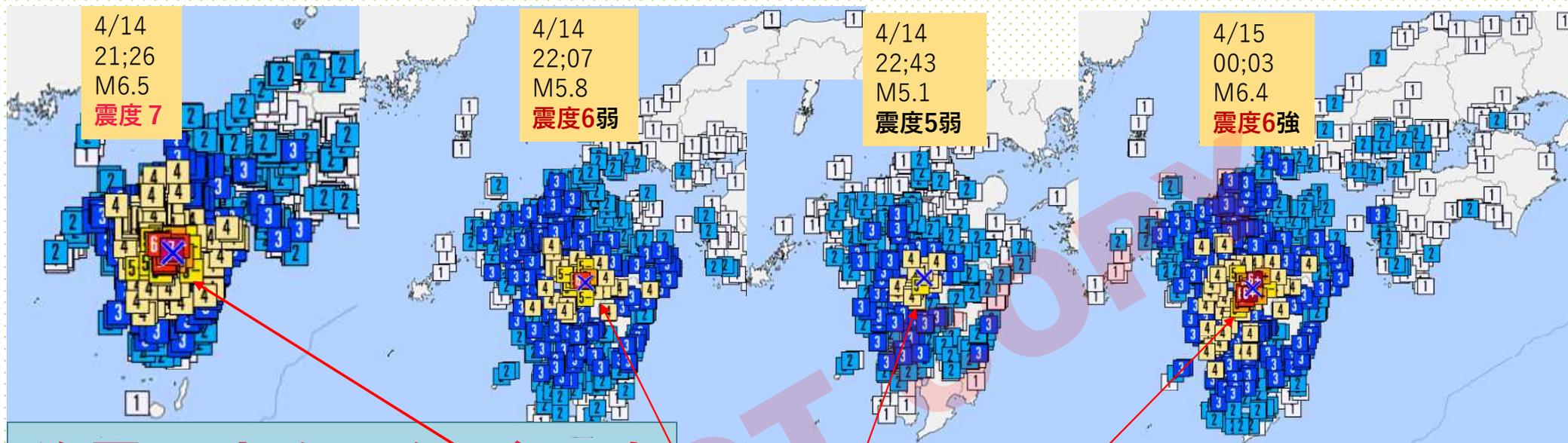
青が20dBの揺れ

青が20dBの揺れ



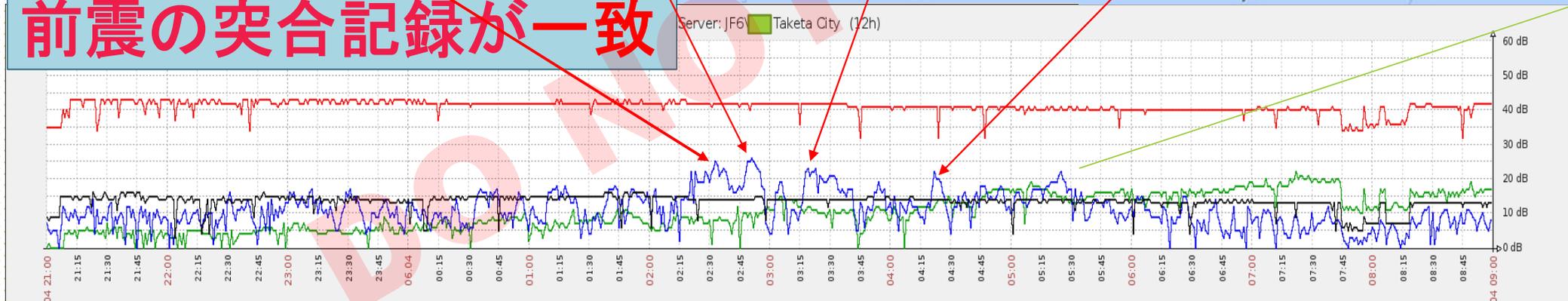
青 = 熊本が6日と9日に突出し危険レベル迄アップ

上図は4月分、下は4日間のグラフです。横線グラフは色周波数の電波強度記録です。



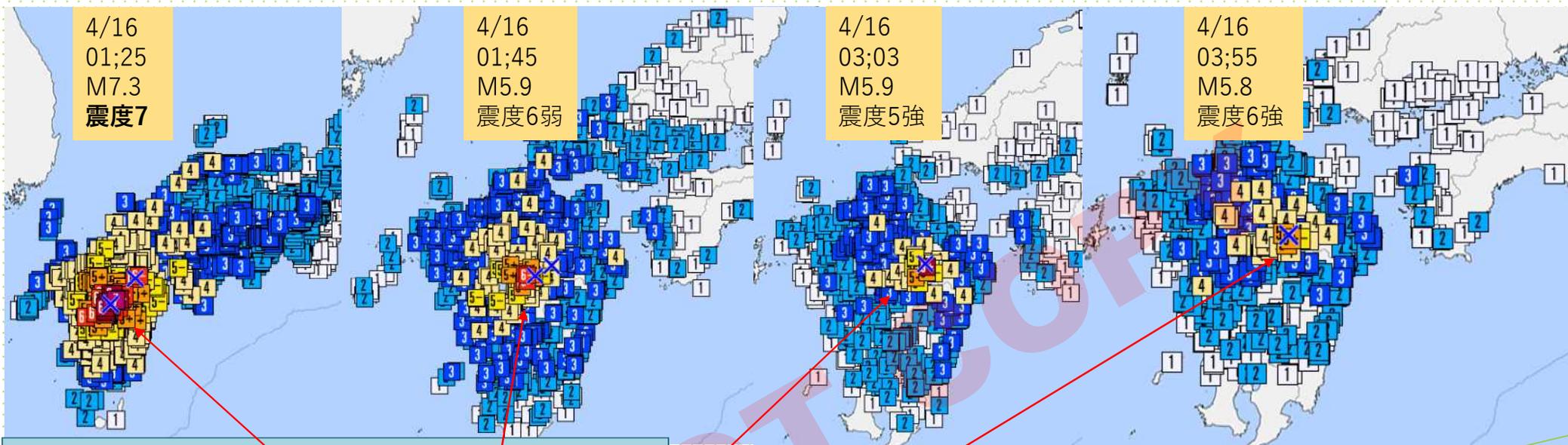
前震の突合記録が一致

Server: JF6 Taketa City (12h)



電波観測の異常ピークと地震の回数・時期・大きさ等がほぼ一致した！これは素晴らしい発見と有名学者絶賛！

JF6	79.7MHz FM Ehime	17 dB	0 dB	10.10 dB	22 dB
JF6	85.40MHz NHK-Kumamoto	8 dB	0 dB	10.94 dB	26 dB
JF6	81.8MHz FM Oita Taketa	42 dB	32 dB	41.02 dB	43 dB
JF6	88.9MHz NHKFM Oita	13 dB	3 dB	13.38 dB	16 dB



本震の突合記録も一致



異常ピークと地震の回数・時期・大きさ等がほぼ一致した。

JF6	79.7MHz FM Ehime	6 dB	0 dB	10.37 dB	16 dB
JF6	85.40MHz NHK-Kumamoto	9 dB	0 dB	13.40 dB	26 dB
JF6	81.8MHz FMOita Taketa	45 dB	36 dB	44.78 dB	46 dB
JF6	88.9MHz NHKFM Oita	12 dB	4 dB	15.21 dB	20 dB

上の震度図は気象庁発表の地震資料です。

電磁観測と地震の検証結果

- 1ヶ月間での大きな電界異常照合

2回の大きな異常 = **2回**の大きな地震(前・本震)

- 1週間前に観測した電界異常に、発生した地震を比較照合

前震 **4回**の異常ピーク = **4回**の大きな地震発生(発生～3時間)

本震 **4回**の異常ピーク = **4回**の大きな地震発生(発生～3時間)

- レベルの比較照合

平時を基準に、**異常レベルに比例**した地震が発生した。

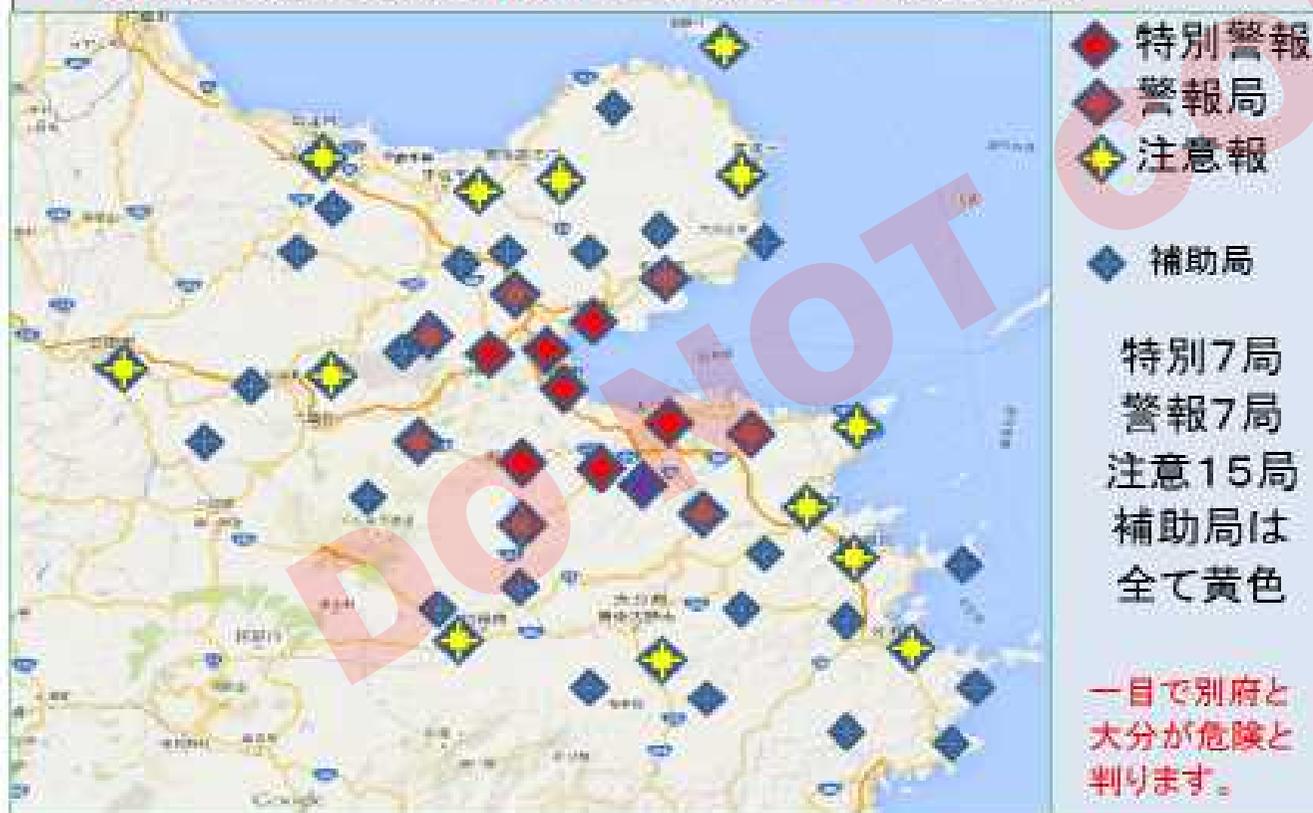
- 発生間隔の照合

前兆の**発生間隔と、ほぼ同期**して、各地震が発生した。

こんなデータが示せるのは「JYAN研」だけです！

大分県内36～50カ所**観測網予想図**(各局の異常色)で**黄色は**
要注意、**赤色集中は直下が震源**、**異常レベルと範囲で「大きさ」**が判明

「地震観測互惠ネット」での観測予想図(高崎山付近)
 (赤)が特別警報局(橙)が警報局(黄)が注意局



気象庁の地震観測は全国600カ所の観測点からのデータを集めています。他機関等を含め全国で3,900カ所に地震観測点があります。ところが、期待された地震警報は(直下型地震は間に合わず、30%もの間違いがあつて大変不評です。)しかし、

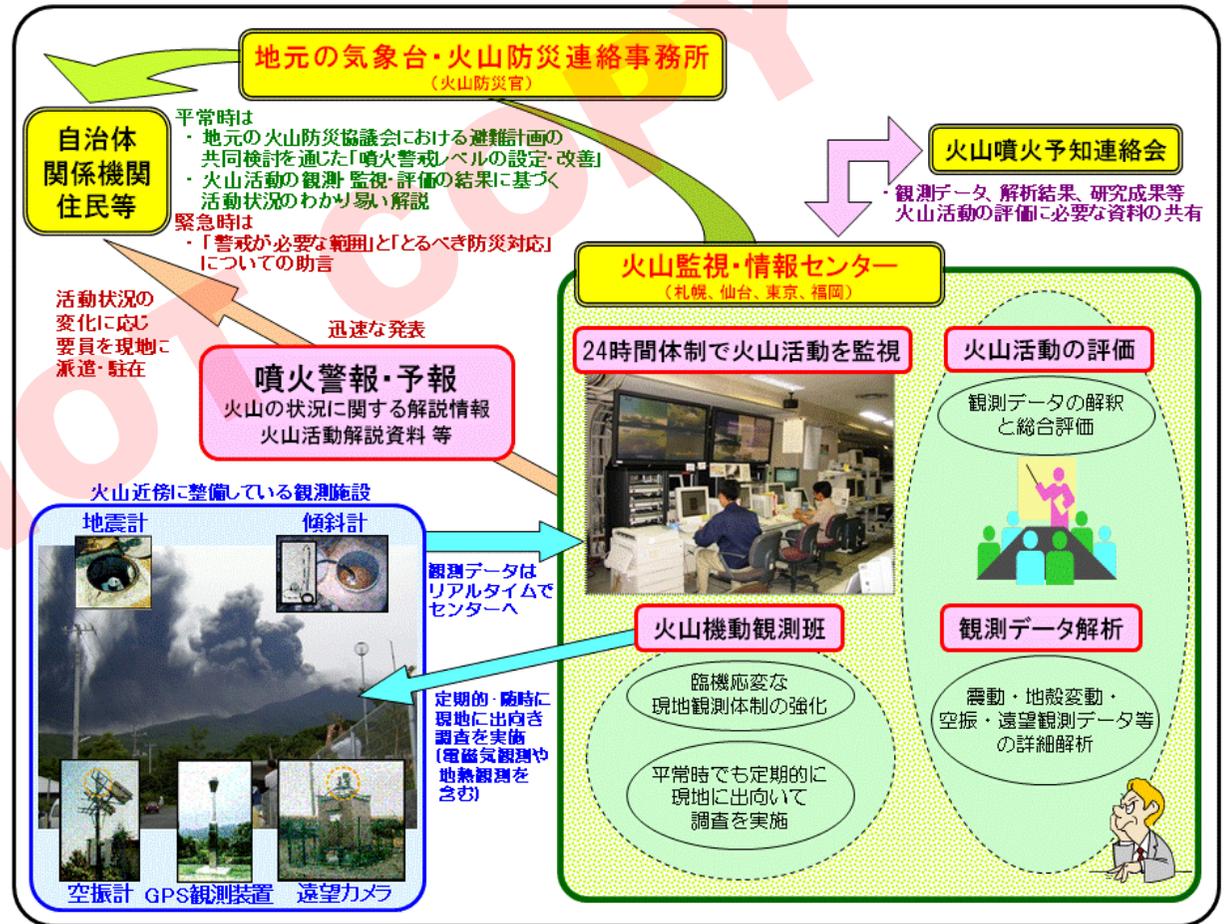
当観測網ができれば、ほぼ1週間前に、左図＝天気予報のように地震情報をご覧になれます。全国に広がれば、相互補完体制が完成します。(各県に統括局を配置)

地震情報は「自動的」に配信！

数百局の観測で間違っただけでは困りますから、総合統括センターで、自動的に処理します。

異常レベルに応じて 注意報・警報・特別警報を配信します。

天気予報以上の確率で、信頼される地震情報となり、日常生活に深く浸透します。
(右は例)



安全な生活ができます

JYAN研なら（自発型）

ホームページの閲覧（観測グラフの閲覧有料）

JYAN研なら3日迄に受信（受動型）

注意や警戒、警報メールで覚知（有料会員）

JYAN研は双方向型（応答型）

返信確認で安全策を指導（特別有料会員）

気象(風や雨量等)の危険度も追加が可能です。